

1960年の4月25日に60社の加盟により誕生した日本遊技機工業組合(当時の名称は「日本遊技機工業協同組合」)は、この4月に60周年を迎えた。日工組の歴史は、すなわちパチンコ機の歴史だ。60周年の節目の時に、時代の変遷とともに進化を続けてきたパチンコ機を振り返る。おなじみ本紙F記者がパチンコに精通したB氏に話を聞き、3回にわたってお届けする。

F 初めまして! 「パ」が「正村ゲーシ」では意図パチンコ界の生き字引」と持たせて釘が配置され言われるBさん、どうぞました。これにより、玉よろしくお願いします! が入りやすいく入賞口がで

B そんな大げさな笑。きたり、玉の動きがダイ私よりも詳しい人は大勢 ナミックで意外性のあるいると思いますが、私もものになったわけですから、わかる範囲でお答えしますね。

F パチンコの歴史は、日工組ができたのはざっと100年近くある。その頃ですか?

B そうですね、1960年と言われているんですが、ど

F 100年も! 初期

B 60年前……いまい

F パチンコ機って、今とピンと来ません(笑)。

B はい、昭和35年、はじめて作ったんです。昭和35年、はじめて作ったんです。

F 釘の配置に関して言

B 釘の配置に関して言

F 釘の配置に関して言

B 釘の配置に関して言

あの時代を振り返る

過去、現在、さらに未来へとパチンコ

クロニクル60

1960~1980

開く、チューリップの誕生



1960年に成田商會が「チューリップ」を発表

B 実はこの年、パチンコ「チューリップ」がミリオンヒットで「チューリップ」になったのは15年後。当時、規制で連発機というジャンルがなくなっていた状況だった。チューリップは、このチューリップによって息を吹き返すことになったのです。

F 60年経った今でも受け継がれている偉大な「発明」だったんですね。

B 1962年にはマシンが次々に生まれる光景が、パチンコで初めや時短中に開くギミックを実現したわけですね。ちくを「電チュー」として言

F 電に補給タンク、アウト玉まわっていきます。

B 電に補給タンク、アウト玉まわっていきます。

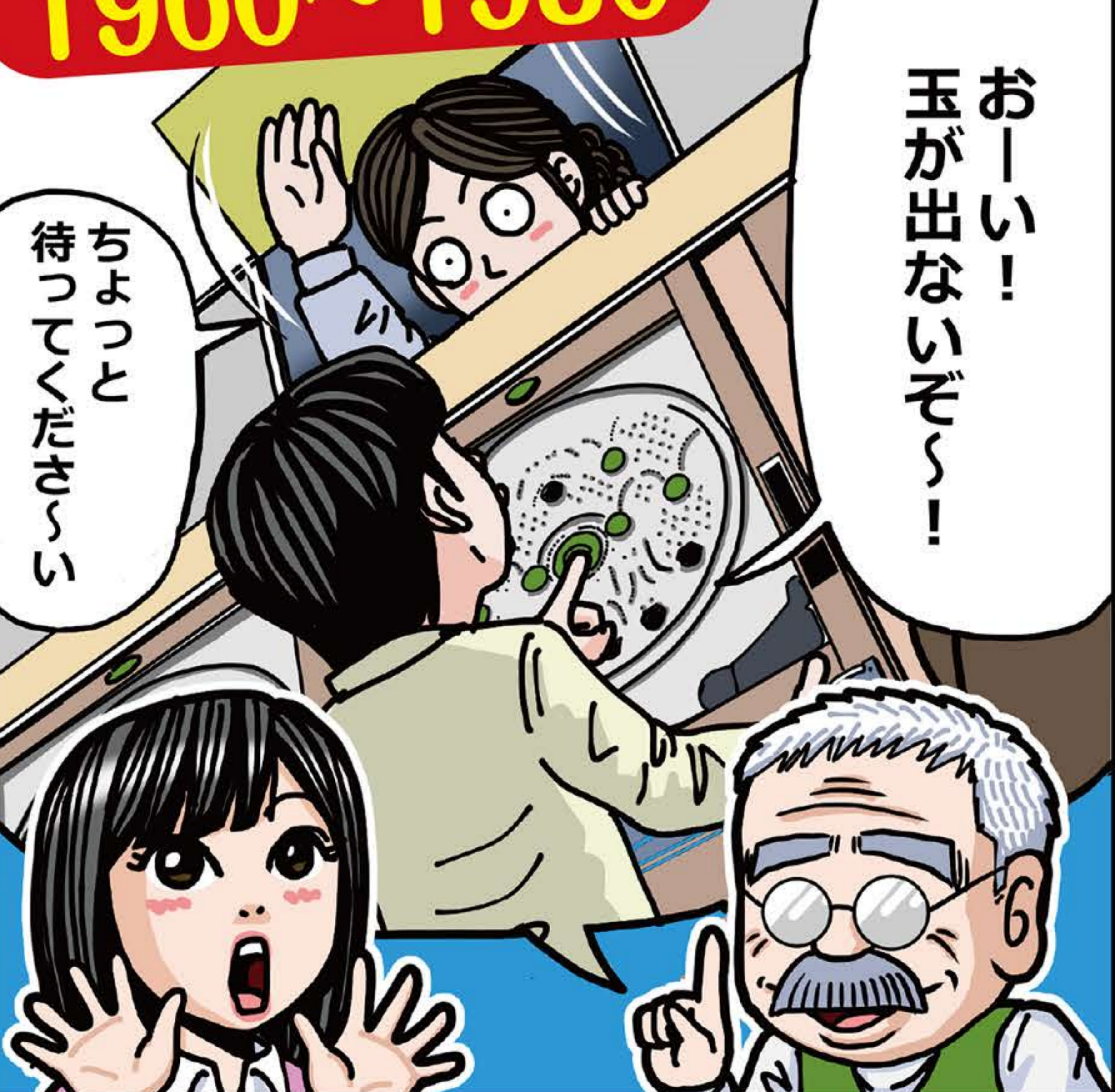


イラスト:ちゅうじょうゆきよし

B 1971年には平和が業界初の「着脱分離式」を開発しました。それまでの台は枠と盤面が一体になっていたのですが、これによって盤面のみを取替が可能なタイプが登場したんです。この状況は打つことですね。

F さらに進化して、パチンコ店が人替のコストが削減できるようになりました。さらに1973年には電動ハンドルが誕生して、ハンドルを回すだけで1分間に最大100個を発射できるようになりました。これも現在のスタンダードになっていますよね。

F 信じられない……! 思ったけど、考えてみたら今はスマホで何かしながらパチンコを打つ人も多

B そうですね、1979年にも似たような構図が実現しました。このジャンルでは初めて「メテオ」(平和)がダイナミックなゲームが大ヒットしたんです。この状況は打つことですね。

F ハイテク特電機がパチンコ界を救ったという状況は打つことですね。

B ハイテク特電機がパチンコ界を救ったという状況は打つことですね。



ファイバー2号機(三共1982年)

今のパチンコの主流になっているというところも言え

「パチンコ・パチスロ生活向上委員会」始動

パチンコメーカー35社で、やすく親しみやすくなるよう構成される日本遊技機工業、情報発信元(主催者組合「日工組」)は、「技術上名は「日工組」ではなく「パチンコ・パチスロ生活向上委員会」の名称となった。公式サイト、SNS(YouTube、Twitter)のアカウント名は同名称で検索すればOKだ。

情報発信第一弾として、お笑いコンビ「霜降り明星」による「遊タイム」のWEBサイトとSNSを爆発解説がアップされている。今後も随時、情報を発信予定だ。

遊タイム



正村ゲーシ連発式オール15 (1953年)

F 記者 入社3年目。パチンコは初心者も知識は豊富。好奇心が強く行動力は人一倍。最近の若者らしく、従来の縦社会にはなじまない。

B 氏 パチンコの歴史に精通している自称「パチンコ研究者」。現在にいたるまで半世紀以上にわたってパチンコと向き合ってきた。

世相史	遊技業界史
「ダッコちゃん」ブーム (昭和35年)	「チューリップ」[無人機]考案 (昭和35年)
ソ連のガガーリン、初の有人宇宙飛行成功 (昭和36年)	「チューリップ」全盛期へ (昭和36年)
テレビ保有台数1000万台突破 (昭和37年)	大型店が増え始める (昭和37年)
巨人軍ON砲人気 (昭和38年)	平和が業界初のプラスチック枠を発表 (昭和38年)
東京オリンピック開催 (昭和39年)	1964 (昭和39年)
エレキブーム到来 (昭和40年)	全国店舗数1200軒に (昭和40年)
ビートルズ来日 (昭和41年)	駐車場付きパチンコ店出現 (昭和41年)
1967 (昭和42年)	1967 (昭和42年)
1968 (昭和43年)	1968 (昭和43年)
1969 (昭和44年)	1969 (昭和44年)
雑誌「anan」創刊 (昭和45年)	1970 (昭和45年)
ボウリングブーム到来 (昭和46年)	玉補給用のコンピューター開発 (昭和46年)
札幌冬季オリンピック開催 (昭和47年)	アレンジボール登場 (昭和47年)
巨人軍V9達成 (昭和48年)	1973 (昭和48年)
ルパン島で旧日本兵・小野田少尉を発見 (昭和49年)	電動式役物が登場 (昭和49年)
家庭用ビデオデッキ発売に (昭和50年)	1975 (昭和50年)
1976 (昭和51年)	1976 (昭和51年)
王貞治、756ホームランで世界一に (昭和52年)	おしほり、ドリンク等をサービスするホールが出現 (昭和52年)
1977 (昭和52年)	1977 (昭和52年)
インベーダーゲーム人気 (昭和53年)	1978 (昭和53年)
1978 (昭和53年)	1978 (昭和53年)
東京サミット開催 (昭和54年)	全遊協が11月14日をパチンコの日と制定 (昭和54年)
1979 (昭和54年)	1979 (昭和54年)
原宿「竹の子族」 (昭和55年)	1980 (昭和55年)
1980 (昭和55年)	1980 (昭和55年)

今のパチンコの主流になっているというところも言え